

シンポジウムの種

第5号 7月12日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2022年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TEL 022-277-6166

2022年度シンポジウムタイトル

多様性と ～全ての人に開かれた博物館を目指して～ 博物館

シンポジウムまであと



パネラー：

渡部直子氏（仙台文学館）
佐藤祐輔氏（仙台市縄文の森広場）
渡邊直登氏（仙台市歴史民俗資料館）

日時：7月23日（土）13:00～16:00

会場：大学講堂

主催：宮城学院女子大学学芸員課程

申込：事前申込制（氏名、ご連絡先を明記の上、下記のメールアドレスへお申し込みください）

mg-gakugeiin@mgu.ac.jp



チラシ配布開始！

2022年度シンポジウムのチラシが完成しました！ A4両面カラーを300枚用意しています。表面はシンポジウムの概要、裏面はお招きする方々の紹介や交通アクセスを記載しています。また今年度は定員を設けての開催となるため、事前申込の案内を記載しています。近日校内の各所にも掲示する予定です！

ポスター・チラシの封入作業を行いました。学芸員課程がある県内の大学やシンポジウムにお招きする学芸員がいらっしゃる博物館を含めた県内の博物館に郵送します。

郵送準備中...



シンポジウムに向けて（広報部編）

ラジオ出演決定！



宮城学院女子大学放送部の協力を得て、広報部がラジオ番組に出演しています。学芸員課程についてのお話や、シンポジウムの宣伝をしました。今後の放送回では7月17日(日)放送のラジオ3「カレッジステーション」MG ハッピーカフェ(11:30～)と、同日放送のfm いずみ「キャンパスアワー」MG ハーティーパーティー(18:30～)に広報部が出演予定です。ぜひお聴きください！



『独眼竜政宗 1』 発刊記念 講演会開催

7月7日(木)にC609にて宮城学院女子大学非常勤講師をされている千葉真弓先生による学内講演会が開催されました。千葉真弓先生は「博物館展示論」の講義を担当されています。今回の講演会は千葉真弓先生による漫画『独眼竜政宗1』の発刊を記念して開催されました。実際に講演会に参加した学生らによる報告です。

前半では、小次郎事件の矛盾についてと、時代考証のための資料集めについてお話がありました。そして実在した人物を描くため、博物館や大学の協力無くしては作品の完成は難しいとお話されていました。例えば、刀を描くとき、博物館へお願いして押形を送っていただいたこともあるそうです。

また資料の古書を大事に扱うことはもちろん、次世代へ本を受け継ぐための工夫も多くありました。筆者は、千葉先生が古書を良好な状態で保存するために中性の付箋を手作りしている点や、古書に直接書き込まないように注意している点から、資料を保管することの重要性を改めて感じました。(佐藤)



千葉先生による実演

後半では、人物の顔を立体的に描くコツや風景の作画方法、絵を見た人に与える影響についてお話がありました。文字では伝わりにくい情報を、伝えやすくする絵の力は偉大だということを再認識しました。(松本)

【連載】博物館実習の様子 3

「博物館実習」(d)クラス



博物館実習(d) 會田組では、今後の展示作成のテーマである大津絵について学びました。大津絵とは、江戸時代に東海道沿いの大津で売られた土産絵のことです。クラスの実習生は、この講義で大津絵のことをはじめて知った実習生がほとんどで、皆興味深く聞き入っており、メモを取る実習生もいました。写真は実物の大津絵を見ながら、大津絵の特徴を学んでいる様子です。

HPにて「シンポジウムの種」(カラー)掲載中



←学芸員課程 2022 年度
HPはこちら!

編集後記

こんにちは、『シンポジウムの種』製作班です。今号では、1面にチラシの配布開始とシンポジウムに向けて(広報部編)、2面に千葉真弓先生の講演会と【連載】博物館実習の様子(d)クラスを掲載いたしました。次号では、パネラーの方々のご紹介と当日お話しいただくこと、シンポジウムに向けて(記録部編)、【連載】博物館実習(c)クラスを掲載する予定です。お楽しみに!(後藤、佐藤、松本)